

平成22年4月完成を目途に

霞ヶ浦新庁舎 建設着工へ



市 が進めている霞ヶ浦庁舎の建設がいよいよ始まります。

霞ヶ浦庁舎建設は、それぞれの地域が持つ役割を大切にしながら、それらが有機的に連携したまちづくりを進め、あわせて行政拠点の機能強化を推進することと定めた新市建設計画や総合計画に沿って行われてきたものです。

これまで霞ヶ浦地区の行政拠点であった現霞ヶ浦庁舎は、昭和32年に建築され

て以降、増築や改造・附属庁舎の建設を繰り返して、建築後50年が経過、施設の老朽化が進むとともに、現在の庁舎敷地内での施設改修は望めない状況にあることから、移転整備による計画を進めてきたものです。

新 庁舎には、市民交流広場を設けるなど、市全域から住民が気軽に集い、活発な交流ができるような場とする狙いがあります。道路整備や情報

ネットワークの構築を併せて進め、商業やサービス産業の立地を誘導しながら、求心力のある拠点機能になることを目指しています。

2 月に庁舎本体と附属棟の建設工事を発注しており、平成22年4月の完成を目途に、建設工事が開始されます。

問い合わせ先

霞ヶ浦庁舎総務課
☎内線22002



(昭和30年) 6カ村合併で美並村役場を出島村役場として使用



(昭和32年) 2階建ての新庁舎を建築



(昭和45年) 1階に玄関ホールや出納室、3階に議場などを増築



(昭和48年頃) 空から見た当時の庁舎

大和田バイパスの完成間近!
国道354号のバイパス「市道②644号線」が、3月中旬にほぼ完成を迎えます。バイパスは、南中学校前から一の瀬川を横断、四ヶ村や大和田の新庁舎前を抜け、銀行前へと続く幹線道路です。自歩道を完全整備し、通学などの自転車・歩行者の安全確保を図っています。

建設地

現在の霞ヶ浦庁舎

場所：大和田字西明内
敷地面積：21,645.91㎡
延床面積：1,991.35㎡(庁舎本体のみ)
建物構造：鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造 平屋建

行政の拠点
住民交流の場

